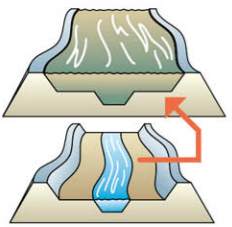


## 洪水災害について

**▶ 洪水**  
洪水とは、雨などにより川の水量が普段より著しく増えた状態をいいます。河原へ行くと広い敷地のわりに中心部しか水が流れていません。これが通常の状態です。ところが、川幅いっぱいにおしよせると、広い河原も水の下にかくれて見えません。このように異常に水が増えたときを「洪水」といいます。



**▶ 氾濫**  
氾濫とは、雨などにより、住宅地や農地などに水があふれることをいいます。川から水があふれることを「外水氾濫」といいます。川から水があふれるのではなく、住宅地や農地に降った雨がそのままあふれることを「内水氾濫」といいます。



**▶ 水害**  
水害とは、水によって起こされる災害のことをいいます。外水氾濫も内水氾濫も水害と呼ばれます。ただし、海水による水害の場合は、高潮災害、津波災害といった呼び方をされます。



### 注意報・警報・特別警報

種類	発表の時期
<b>大雨特別警報</b>	台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨が予想されるとき。重大な災害が発生する可能性が高まっているとき。
<b>記録的短時間大雨情報</b>	1時間雨量100mmの猛烈な雨を観測したとき。
<b>大雨警報</b>	大雨によって重大な災害が起こるおそれのあるとき。
<b>洪水警報</b>	河川の増水によって重大な災害が起こるおそれのあるとき。
<b>大雨注意報</b>	大雨によって災害が起こるおそれのあるとき。
<b>洪水注意報</b>	河川の増水によって、災害が起こるおそれがあるとき。
<b>土砂災害警戒情報</b>	雨量や過去の災害の記録などから土砂災害が発生する危険度が高まったとき。

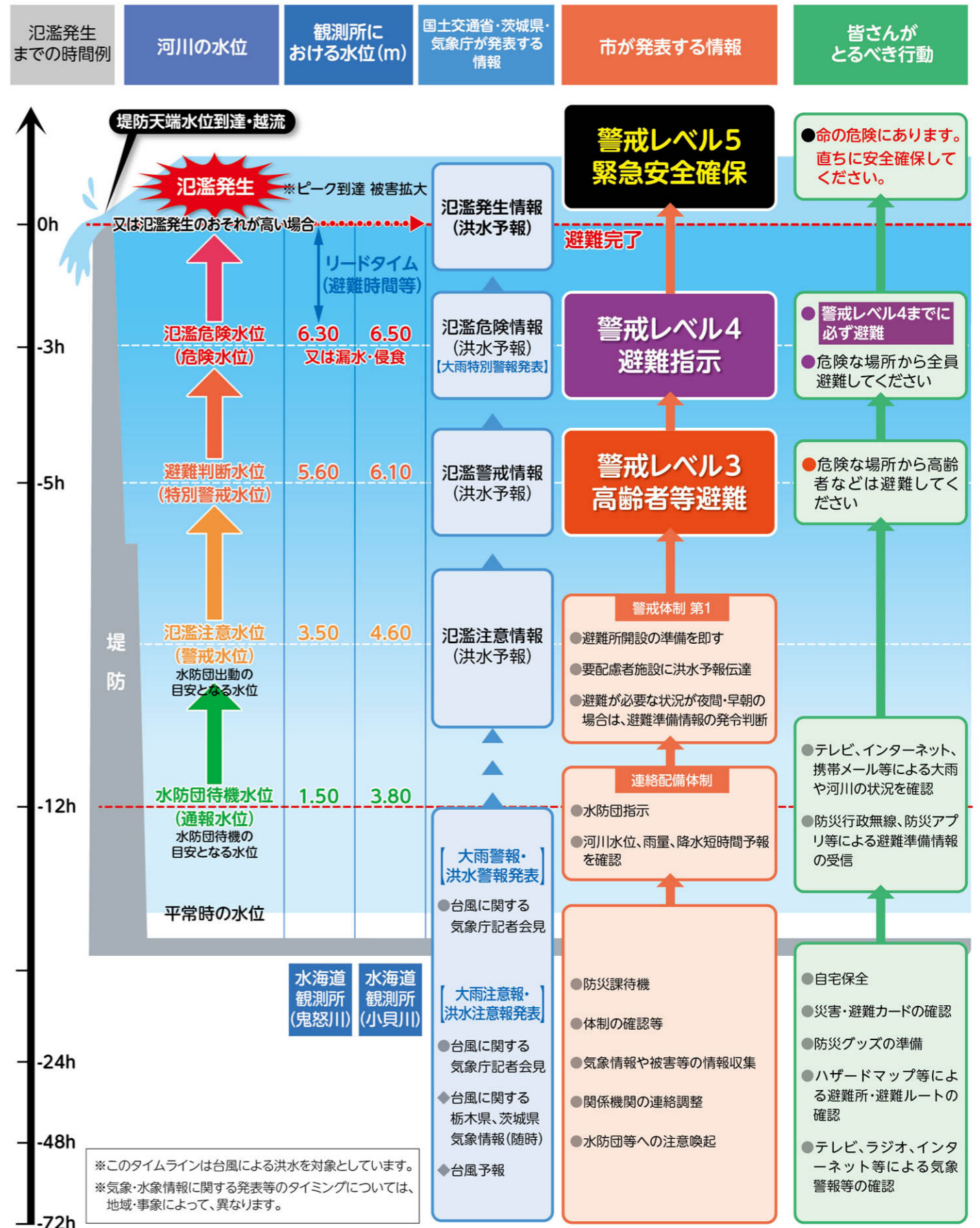
### 雨の降り方と注意報・警報の関係(目安)

発表目安	土砂災害警戒情報				
	大雨注意報	大雨警報		大雨特別警報	
予報用語 1時間雨量(mm)	やや強い雨 10~20mm	強い雨 20~30mm	激しい雨 30~50mm	非常に激しい雨 50~80mm	猛烈な雨 80mm以上
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘はまったく役に立たなくなる	
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞き取れない		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく		
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて		ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

## 洪水災害とは?

## 避難勧告発令等に着目したタイムライン(鬼怒川・小貝川)

洪水時には、以下のような洪水予報が国や県、気象庁、市から発表されることがあります。市民の皆さんは、安全のために情報の種類に応じて、適切な行動をとりましょう。



地域防災ネットワーク

防災・避難の備え

風水害・土砂・竜巻の備え

防災マップ

地震の備え

地域防災ネットワーク

防災・避難の備え

風水害・土砂・竜巻の備え

防災マップ

地震の備え